

事業名称		特色ある学校づくり事業(小・中)		事業種別	委託	担当部室	教育研究室		事務事業No.	2-1			
事業期間		平成14年度		～		記入者	岩間 浩哉						
事業の経緯		総合的な学習の時間の導入や地域・保護者の要望により、平成12年度に「地域教育づくり」としてスタートした事業を継承・発展し、平成14年に「特色ある学校づくり推進事業」として進めてきた。平成19年度策定の「亀山市学校教育ビジョン」における「亀山市の豊かな教育資源を活かした創造的な教育」と「すべての子どもの学びを支え、心をはぐくむ教育」を基本目標に据えて、各校が重点的に取り組む方向性を定め、地域の自然や歴史、人々との触れ合いを大切にした学習や豊かな体験活動を展開してきた。				根拠法令	学習指導要領(平成20年3月文科省告示)						
						根拠条例	無						
						必須業務の有無	無						
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)		「亀山市学校教育ビジョン」の基本理念を基にして、豊かな教育資源を最大限に活かし、児童生徒や保護者、教職員、地域住民等の実態に応じつつ、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育む特色ある教育活動、魅力ある教育実践を進め、児童生徒や保護者、教職員、地域住民が満足できるものとする。(マニフェスト、第1次総合計画にも記載)				これまでの成果	成果の内容	各校において、地域の方々をゲストティーチャーとして招き、さまざまな体験活動を行うことで、地域の良さを知り、地域の方々との結びつきが深まるとともに、児童生徒の活動や学ぶ意欲が高まり、生きる力の向上や魅力ある学校づくり、地域に開かれた学校づくりにつながった。特に地域の方々と一体となった花の栽培や花壇づくり(「フラワーブラボーコンクール」)、文化祭などは地域や学校の特色ある取り組みとなっている。今年度、地域との関わりや事業による満足度を示す指標を設定し、より成果を評価できるよう検討中である。					
							実績指標名	地域における体験活動の実施校					
							指標の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()	
事業概要 施設概要(規模、階数、建築年度など)		亀山市教育委員会は、「特色ある学校づくり」推進校として、市内小学校11校、中学校3校を指定し、事業を各小・中学校の「特色ある学校づくり推進委員会」に委託する。推進校は、各学校創意工夫を生かした独自の活動テーマを設定し、特色ある実践を行う。例えば、地元産業理解と参画、花づくり・野菜や米づくり、地域の歴史文化・芸術に触れる等の活動である。今年度より、教育研究室が各推進委員会より提出された「事業実施計画書・予算書」とヒアリング結果をもとに査定し、各推進委員会への委託金を決定した。そして、その結果をもとに、より特色ある学校づくりが推進できるよう工夫し取り組んでいる。					対象者の状況	指標の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()
								校	14	14	14	14	
						成果指標名		「フラワーブラボーコンクール」入賞校					
						校		3	4	3	4		
						対象者名		小中学校児童生徒					
【収入】		千円	H21実績	H22実績	H23見込	民間委託	対象者の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()	
使用料・手数料							人	3,997	4,010	4,043			
国支出金(補助率)							現在市内小中学校児童生徒数は、微増している。今後は児童生徒数は、多少の増減はあるが、現在とほぼ同じと考えられる。						
県支出金(補助率)													
その他()													
収入合計			0	0	0	委託の現状	無						
【支出】		千円	H21実績	H22実績	H23見込	受け皿の存在	無						
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.06	0.06	0.1	市における類似事業	無						
		人件費	461	440	731								
	臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)	0.0	0.0	0.0								
事業費(予算・決算上)			4,200	4,200	3,820	近隣市町の状況	○津市 「輝きプロジェクト」推進事業 市内全小中学校を対象にして、実施計画書をもとにヒアリングを実施し、委託料を決定する。 学校の裁量により、子どもたち一人ひとりの特性に応じた教育活動を主体的に進めている。 ○四日市市 「学校づくりビジョン推進事業」 市内全小中学校の学校を対象にして、「学校づくりビジョン」をもとにヒアリングを実施し、各校の「学校づくり協力者会議」に委託 地域の人材を積極的に活用し、特色ある教育活動を実施できるように必要な経費を援助する。						
支出合計			4,661	4,640	4,551								
【収支】		千円	H21実績	H22実績	H23見込								
一般財源充当額			4,661	4,640	4,551								
対象者あたり一般財源充当額			1.17	1.16	1.13								
主な事業費(H23見込)	費目		内容		金額(千円)	国、県の補助金の動向	無						
	小学校費委託料		特色ある学校づくり推進事業		3,000	廃止したときの影響	地域や保護者が一体となった特色ある学校づくりのための活動や体験活動が少なくなり、児童生徒の地域との結びつきや地域への愛着、体験による生きる力を育む環境がなくなっていく。						
	中学校費委託料		特色ある学校づくり推進事業		820	その他特記事項(事業仕分けにかけたい理由、議論して欲しい点、留意事項など)	平成24年度より中学校学習指導要領が本格実施される。より地域の教育力を活かし、体験活動を重視した特色ある教育活動に取り組む必要があると考えているが、今後の各学校の活動として、地域の特徴を活かした活動のあり方や地域の特徴を活かした学校運営のより一層の必要性について議論いただきたい。						

平成 23 年度 特色ある学校づくり推進事業実施要項

亀山市教育委員会

1 趣 旨

学習指導要領では、現在の教育上の様々な問題を解決していく上で、「特色ある教育」を展開し、児童生徒が自ら学び、自ら考える「生きる力」を育成していくことの重要性が強調されている。

本市においても、児童生徒が自分の興味・関心のあることにじっくり取り組み、温かい人間関係の中で自分の力を発揮できる学校づくりを推進するとともに、個に応じた指導の一層の充実を図り創意工夫を生かした特色ある教育活動の展開が必要である。

そこで、「亀山市学校教育ビジョン」の理念に則り、豊かな教育資源を最大限に活かし、児童生徒や保護者、教職員、地域住民等の実態に応じつつ、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を育む特色ある教育活動、魅力ある教育実践を進め、本市学校教育の充実に資する。

2 事業の概要

- (1) 亀山市教育委員会は、「特色ある学校づくり」推進校として、市内小学校 11 校、中学校 3 校を指定し、事業を各小・中学校の「特色ある学校づくり推進委員会」に委託する。
- (2) 委託期間は概ね 1 年間（平成 23 年度）とし、詳細は別途契約書で定めるものとする。
- (3) 推進校は、各学校創意工夫を生かした独自の活動テーマを設定し、特色ある実践を行う。
- (4) 1 校あたりの委託料は、別途通知する。

3 活動テーマ

推進校は、各学校創意工夫を生かした独自の活動テーマをキャッチフレーズの形で表現し、保護者や地域住民の協力理解を得ながら特色ある実践を行う。

＜ 活動テーマの例 ＞

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ・ 学校、地域ぐるみの花いっぱい運動 | ・ 心豊かな子どもを育てる全校読書活動 |
| ・ 校内情報教育プロジェクトの充実 | ・ 全校基礎学力アップ大作戦 |
| ・ ふるさと発見～地域フィールド大作戦～ | ・ ひろがる挨拶、ひびきわたる歌声 |
| ・ 豊かな心を育む芸術・文化大作戦 | ・ 心とからだの健康 - 基礎体力向上作戦 - |
| ・ 学校と家庭を結ぶポートフォリオ評価～総合的学習から教科学習へ～ | 等 |

4 活動内容

本事業の趣旨に則り、推進校は、**創意工夫を生かした独自の活動内容を計画的に実践する。**

＜ 活動内容の例 ＞

- ・ 魅力ある独自のカリキュラムを編成し、勤労生産活動やボランティア活動を積極的に取り入れ、児童生徒の主体的、自律的な態度を育てる。
- ・ 基礎的・基本的な学習内容を捉えなおすとともに、個に応じた効果的な補習学習、家庭学習等の在り方について、実践的な研究を行う。
- ・ 社会の変化に対応する教育（環境・情報・多文化共生・健康福祉等）を推進する。
- ・ 学校、保護者、地域住民、学識経験者等を構成員とする協議会を開催し、各学校や学校区が抱える様々な教育的課題について協議するとともに、その解決に向けた実践的な研究を行う。
- ・ 学校と地域の人的・物的相互の活用を推進するとともに、学校の情報や活動内容を公開して家庭・地域との信頼関係を構築する。
- ・ 郷土の歴史や芸術文化に積極的にふれあう機会を多く設定し、子どもたちを「亀山の文化を担う人」として育成する。
- ・ 総合的な学習の時間等において、保護者、地域・ボランティアの方、専門家等を招き、様々な学習形態や指導体制を工夫した実践的研究を行う。

- ・ 保育所・幼稚園・小中学校の連携や小規模校と大規模校の地域の特性を生かした交流活動の具体的方策について実践的な研究を行う。
- ・ 地域の人材や自然・社会福祉施設等、地域の教育資源や素材を活用した学校内外における学習活動の実践的研究を行う。
- ・ 基礎的な体力の向上を図るとともに、子どもたちの自己価値観を高めていく学校保健体育の実践的な研究を行う。
- ・ 学校の運動部活動の社会体育への移行を視野に入れながら、他団体や外部指導者との交流・連携を推進する。
- ・ 学校と文化・スポーツ他団体との交流・連携を進め、亀山の文化・スポーツ振興を図る。
- ・ 実践交流会やカウンセリング研修会、体験参加型学習会等の研修の場を充実し、教職員の意識改革を図るとともに、教職員と子どもたちとの信頼関係を築く実践的な研究を行う。
- ・ 人間の生き方に感銘したり、大自然の驚異に感動したり、芸術作品の素晴らしさに感動したり、という体験ができる機会を意図的に設定する。

等

5 推進校の運営

- (1) 推進校は、実践的研究が積極的に展開されるように、亀山市教育委員会と密接な連携を図り、その指導・助言の下に事業を進める。
- (2) 推進校は、年度当初に実施計画書及び予算書等を亀山市教育委員会に提出し、聞き取りの下、委託料を決定する。
- (3) 推進校は、事業の終了時に実績報告書及び収支決算書、支出明細一覧表及び支出命令簿等《2月 10 日（金）締切》を、別途通知する様式により亀山市教育委員会に提出する。

6 事業費

亀山市教育委員会は、上記事業の実施に必要な経費については、予算の範囲内において支出する。

7 その他

(1) 初期手続き



事業名称	中学校体験活動支援事業			事業種別	委託	担当部室	教育研究室			事務事業No.	2-2	
事業期間	平成13年度			～		記入者	平野朋希					
事業の経緯	現在の中学校学習指導要領の完全実施(平成14年4月)に合わせ、平成13年度にはじまった三重県の「自分発見！中学生・地域ふれあい補助事業」を受け、市内3中で職場体験学習の取組がはじまった。平成22年度に県の事業は廃止され、平成23年度より市単独の事業として行っている。各中学校とも、地域の方々や事業所の支援・協力を得ながら進めてきた事業である。					根拠法令	文科省 学習指導要領 H23改訂					
						根拠条例	なし					
						必須業務の有無	なし					
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)	○事業目的 中学生が、5日間の体験学習を通じ、キャリア教育の一環としての勤労観を身につけるほか、あいさつの大切さや人との接し方等の社会規範的な側面を身につけることをねらいとしている。また、地域の方々とのふれあいにおいても大きな意味があると考えられる。 ○事業の位置づけ ・現行学習指導・新学習指導要領 特別活動における取組として示されている。新学習指導要領 学校行事(5) 勤労生産・奉仕の行事にも、「勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職場体験などの職業や進路にかかわる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。」と示されている。 ・亀山市学校教育ビジョン (4)「心はずむ体験活動」の中で、「職場体験や総合的な学習の時間など、体験活動における諸活動を通して、社会の一員としての基本的なモラルや社会生活のルールを子どもが習得できる学習を展開します。」と示され、本事業はそれに則った取組となっている。					これまでの成果	成果の内容	多くの事業所の協力で、生徒の希望に添う事業所の確保がある程度できたため、意欲的な取組ができた。勤労することの意味や、社会人としてのマナーの在り方などを身につける他、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるきっかけとなった。地域の中にもこの事業が浸透し、地域から支える協力的な雰囲気も生まれてきている。				
							実績指標名	職場体験アンケート(教師に対して) 【質問項目】職場体験学習を終えて、子どもたちにとって学校ではまなぶことのできない学習をすることができたと思われませんか？【回答】「とてもできた」「できた」				
							指標の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()
								%	100	100	100	100
							成果指標名	職場体験アンケート(子どもたちに対して) 【質問項目】「職場体験は進路や将来について考える機会になりましたか」に対する【回答】「とてもよい機会になった」「よい機会になった」の推移				
							指標の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()
%	78.5	75.2	77	80								
事業概要 施設概要(規模、階数、建築年度など)	市内三中の第2学年の生徒378名が市内135の事業所で(6月の第1週に5日間)職場体験学習を実施。それぞれ、各事業所の業務を生徒が体験している。受け入れ事業所の業種は工場、製作所、商店(コンビニエンスストア、スーパー)、飲食店、ホテル、幼稚園・保育園、病院、市役所(市関連施設)、農家(造園関係)などである。前年度の1年次には、自分自身の職業観を確認するテキストの取組を行い、自分自身の職業に関する適正等を確認している。実施期間中、生徒は日誌を記入し、次の活動へ活かしているとともに、体験終了後は、交流活動を実施する他、各事業所から届く講評をもとに、自分たちの活動を振り返っている。また、三中共通のアンケート(生徒、教師、事業所対象)を実施し、その結果をもとに次年度の活動へと活かしている。					対象者の状況	対象者名	職場体験アンケート(事業所に対して) 【質問項目】「貴事業所で職場体験に取り組んだ子どもたちの姿はどうでしたか」に対する【回答】「たいへん積極的だった」「積極的だった」の推移				
							対象者の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()
								%	80	81.5	81	85
【収入】	千円		H21実績	H22実績	H23見込	民間委託	委託の現状	なし				
使用料・手数料							受け皿の存在	なし				
国支出金 (補助率)						市における類似事業	なし					
県支出金 (補助率 40%)	240		260									
その他()												
収入合計	240		260	0								
【支出】	千円		H21実績	H22実績	H23見込							
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.1	0.1	0.1	近隣市町の状況	平成22年度現在県内184校中、156校の中学校で職場体験学習を実施している。近隣市町(津市・鈴鹿市)においても、H23年度実施しており、今後取組を終了する動きはない。					
		人件費	384	367	366							
	臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)	0.0	0.0	0.0							
		人件費										
事業費(予算・決算上)		600	650	450	近隣市町の状況	平成22年度現在県内184校中、156校の中学校で職場体験学習を実施している。近隣市町(津市・鈴鹿市)においても、H23年度実施しており、今後取組を終了する動きはない。						
支出合計		984	1,017	816								
【収支】		千円	H21実績	H22実績			H23見込					
一般財源充当額		744	757	816								
対象者あたり一般財源充当額		9	9	10	主な事業費(H23見込)	国、県の補助金の動向	平成22年度をもって、三重県の事業「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」は終了。					
費目		内容		金額(千円)			廃止したときの影響	体験的な活動を通して行うキャリア教育の機会がなくなる。				
中学校費委託料		中学校体験活動支援事業		450								
								その他特記事項(事業仕分けにかけたい理由、議論して欲しい点、留意事項など)				

事業名称		生涯学習フェスティバル開催費		事業種別	直営	担当部署	教育委員会 生涯学習室		事務事業No.	2-3			
事業期間		平成4年度		～	平成 年度	記入者	米野 彩						
事業の経緯		市民の日頃の学びの成果発表の場、学ぶきっかけづくりの場として平成4年度より開催。平成20年度からはサークルや公民館講座等関係者等からなる実行委員会形式で実施。例年、当日の運営スタッフ不足が問題となっていたことから、22年度からは参加者から当日のボランティアスタッフを募ったほか、出品者に1人1点の作品展示をお願いし、作品配置についても見やすい展示を心がけた。				根拠法令		なし					
						根拠条例		なし					
						必須業務の有無		無					
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)		市民の日頃の学びの成果発表の場を提供することにより、生涯学習への意欲の向上を図ることを目的とする。 【亀山市総合計画】前期基本計画 5生きがいを有する福祉の展開(1)生涯学習・生涯スポーツの推進 【亀山市生涯学習計画】基本計画 自主的・自発的な学習に向けた環境づくり。				これまでの成果	成果の内容		年々、参加者・来場者ともに増加し学びのきっかけづくりの場となっている他、公民館講座やサークル活動で学習している人たちにとっても自分達の1年間の成果を発表する目標の場となっている。				
							実績指標名		展示作品数				
							指標の推移		単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()
							点		1,245	795	800		
事業概要 施設概要(規模、階数、建築年度など)		2月下旬に、青少年研修センター、社会福祉センター、歴史博物館、図書館の4会場で、舞台発表・展示・体験・出展の4つの部門で開催。22年度は市内のサークルや公民館講座等105団体が参加した。				対象者の状況	成果指標名		来場者数				
							指標の推移		単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()
							人		2,000	2,500	2,500		
							対象者名		参加団体数				
【収入】		千円		H21実績	H22実績	H23見込	対象者の推移	単位	H21実績	H22実績	H23見込	目標値()	
使用料・手数料						団体		120	105	115			
国支出金(補助率)						将来の動向				毎年、公民館講座を卒業した人達が自分たちでサークルを作り活動しているので、今後も参加者は年々、増加する。			
県支出金(補助率)						委託の現状		単独(直営)					
その他()						民間委託	受け皿の存在		各コミュニティ単位で行っている文化祭、公民館の各講座の中で発表会を実施する事は可能。				
収入合計		0		0	0								
【支出】		千円		H21実績	H22実績	H23見込	市における類似事業	市民文化祭					
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.13	0.13	0.13								
		人件費	997	954	951								
	臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)											
			人件費										
事業費(予算・決算上)		1,587		1,317	1,770	近隣市町の状況							
支出合計		2,584		2,271	2,721								
【収支】		千円		H21実績	H22実績		H23見込						
一般財源充当額		2,584		2,271	2,721								
対象者あたり一般財源充当額		22		22	24								
主な事業費 (H23見込)	費目		内容		金額(千円)	国、県の補助金の動向	なし						
	報償費		フェスティバル協力団体謝礼、講演会講師謝金		300	廃止したときの影響	生涯学習に取り組む人達が一堂に会し、お互いの取り組みや発表の場を見合う機会はない。						
	需用費		一般消耗品、L Pガス代金、ポスター印刷代		166	その他特記事項(事業仕分けにかけたい理由、議論して欲しい点、留意事項など)	市民の間で、生涯学習に対する考えや意欲が浸透してきた中で、年々出展点数及びフェスティバルへの参加者が増加している。この反面、会場及び駐車場の手狭さと運営スタッフの人員不足が問題となっている。平成22年度からは参加者の中から当日のボランティアスタッフを募ったものの、十分な人員確保はできなかった。年々、参加者が増える中で、展示場所の確保や参加者の出品のあり方について再度検討が必要。						
	手数料		検便手数料、ごみ処理手数料、白布クリーニング代		22								
	委託料		会場設営委託料		1,000								
	会場借上料		フェスティバル会場借上料		282								

☆ 26日(土)

出店のご案内

☆ 27日(日)

青少年研修センター前駐車場

- ☆ ぜんざい【無料】 (亀山市婦人会連絡協議会)
- ☆ みたらし【有料】 (婦人会亀山地区)
- ☆ にくまん・あんまん・和菓子【有料】
(かめやま障害児者を支える会)
- ☆ リサイクルバザー【有料】
(亀山市青少年育成市民会議)

青少年研修センター前駐車場

- ☆ もちつき【無料】 (亀山市青少年育成市民会議)
- ☆ 豚汁【無料】 (亀山市婦人会連絡協議会)
- ☆ みたらし【有料】 (婦人会亀山地区)
- ☆ にくまん・あんまん・和菓子【有料】
(かめやま障害児者を支える会)
- ☆ 不用品バザー・焼き芋【有料】
(亀山市母子寡婦福祉会)

青少年研修センター集会場

ステージ発表プログラム

- 3B体操(和き・あいあい) 10:00~
- ハモニカ(亀山ハモニカクラブ アンガソネ) 10:15~
- やさしい手話(中央文化講座) 10:30~
＜開会セレモニー＞ 10:45~
- 文化祭(文化祭サークル ひびき) 11:00~
- ハドバル(神辺小やなぎっ子教室) 11:15~
- ミニミニバンド(やなぎっ子バンド) 11:30~
- 民話語り(山ゆり) 11:45~
＜休憩タイム 12:10~13:00＞
- フラダンス(亀山ゆめ)「体験」 13:00~
- 健やかダンス(健やかサークル) 13:20~
- 太極拳(亀山養生倶楽部)「体験」 13:35~
- 文化祭(文化祭サークルことほぎ) 13:55~
- ダンス(MDS) 14:10~
- ハモニカ入門(出前文化講座/野村) 14:25~
- ソーラン(チーム多門) 14:40~
- 太極気功(太極気功サライ)「体験」 14:55~

※ 発表内容により時間が前後する場合があります。ご了承ください。

- ハーモニカ(亀山ハモニカクラブ 元気) 10:00~
- 日舞(亀老連 しょうぶの会) 10:15~
- 民話語り入門A(中央文化講座) 10:30~
- 民謡(婦人会亀山地区 民謡部) 10:45~
- 民話語り入門B(中央文化講座) 11:00~
- 太極気功(出前文化講座/関地区B) 11:15~
- 寛水流空手(亀山道場) 11:30~
＜休憩タイム 11:45~12:30＞
- オカリナ入門(中央文化講座) 12:30~
- オカリナ(フレンス) 12:45~
- オカリナ(チャオ) 13:00~
- ギター入門(中央文化講座) 13:15~
- カラオケ(婦人会亀山地区 かり部) 13:30~
- 箏曲(箏曲千代美会 柴田社中) 13:45~
- フォークソ(亀山フォークダンス部) 14:00~
- さわやか3B体操(婦人会亀山地区) 14:15~
- ダンス(亀山ダンスサークル) 14:30~
- フォークソ(亀老連フォークソ部) 14:50~
＜閉会セレモニー＞ 15:05~

ふれあい体験

社会福祉センター3F 集会室

- ☆やさしい折り紙
- ☆しおりづくり(AMのみ)
- ☆絵本であそぼう

歴史博物館1F 講義室

- ☆ネイチャークラフト

社会福祉センター3F 集会室

- ☆シルククラフト
- ☆絵手紙
- ☆絵本であそぼう

歴史博物館1F 講義室

- ☆ネイチャークラフト
- ☆動くおもちゃづくり

Festival

第6回亀山市生涯学習フェスティバル

“学び” それは生きがい

～つくる ふれあう つながる～

日時 平成23年2月26日(土)

10:00~16:00

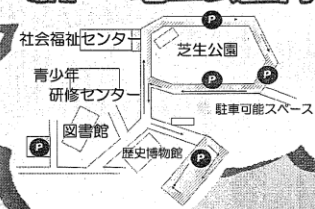
27日(日)

10:00~15:30

場所 亀山公園内

展示コーナー

市内サークルや公民館講座
55団体のメンバーが
作った作品を会場内いっぱい
に展示



ステージ発表

32団体がステージに。
日ごろの練習成果をご覧あれ!!
※フラダンス・気功・太極拳は発表後、
体験プログラムあり

ふれあい体験コーナー

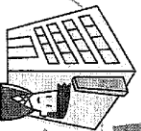
- 《26日》やさしい折り紙・しおりづくり(午前のみ)
- 《27日》動くおもちゃづくり・絵手紙
シルククラフト
- 《両日》ネイチャークラフト・絵本であそぼう

出店

- 《26日》みたらし、肉まん、あんまん、和菓子
リサイクルバザー、ぜんざい
- 《27日》みたらし、肉まん、あんまん、和菓子
バザー、焼き芋、豚汁、餅つき

主催: 亀山市生涯学習フェスティバル実行委員会・亀山市教育委員会・亀山市
お問合せ先: 亀山市教育委員会生涯学習室 ☎ 0595-84-5057

会場案内図



<社会福祉センター 3F>

【展示】

- ・盆栽盆石会
- ・絵手紙(さくら・私の絵・感動・そよ風・わか葉・安寿)
- ・木彫り「ひまわり」「ともみ会」
- ・洋裁キヤロット A・B・C
- ・婦人会(よろずの会・手作部・おけのみ部・編み物サークル・ペーパークラフト)
- ・亀山公立幼稚園
- ・水墨画(本町)

【ふれあい体験】

26日: やさしい折り紙
しおんく(11AM)
絵本であそぼう
27日: シルクラフト
絵手紙
絵本であそぼう



駐車禁止

<青少年福祉センター>

【展示】

- | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|---------------|
| 1F | ・婦人会(園芸部) | ・亀山詩の会 | ・2F ロビー |
| 2F(研修室1・11) | ・こぶしの会 | ・キルト入門(城東) | ・伊勢型紙彫型画 |
| ・仲良し折り紙サークル | ・四季彩画(井田山南) | ・ちぎれ絵(神辺) | 2F 和室 |
| ・リサ-ズドブクラフト(山崎) | ・ちぎれ絵(神辺) | ・はしめてのスケッチ(中央) | ・シルクラフト(井田山北) |
| ・創価おひねり紙(関北部) | ・はしめてのスケッチ(中央) | ・北条ちぎれ絵 | ・たのしい陶芸(関A) |
| ・初めてのアジカメ(中央) | ・はしめてのスケッチ(中央) | ・松深塾 | ・シボ-ボックズ(中央) |
| ・くらしの書(御幸) | ・タートルフォトサークル | | ・リサ-クラフトひまわり |
| ・亀山山柳会 | | | ・ペーパークラフト(城北) |

<青少年福祉センター前駐車場>

【アナージ発表】
1F 集会場
・フロアラム
裏面参照

【出店】

26日: せんざい(無料)
みたらし・肉まん・あんまん・和菓子
リサイクルバザー
27日: もちつき・豚汁(無料)
みたらし・肉まん・あんまん・和菓子
焼き芋 不用品バザー

【駐車場のご案内】
◎歴史博物館駐車場
◎芝生公園外周(公園内は駐車不可)
◎旧斎場駐車場
※お車でお越しの方は、乗り入れを断ります。
※アトリビュメントにご協力ください。

<図書館展示室>

【展示】

- ・やさしい埴道(中央)
- ・表装サークル
- ・たのしい寄せ植え(天神・和賀)
- ・たのしい盆景(野登)
- ・いけぼろ入門(白川)
- ・伊勢型紙(城西)



駐車禁止

<歴史博物館>

【展示】

- 企画展示室
- ・スチヤサークル Shou
- ・陶芸サークル A・B・C
- ・日本画サークル 春北
- ・嵯峨会 第2班
- ・造形(内田 茂)
- ・亀山水墨画同好会
- ・木彫どんぐりの会
- ・埴道の会



【ふれあい体験】

講義室
26日: ネイチャークラフト
27日: 動くおもちゃづくり
ネイチャークラフト



100 再生紙を使用しています。

→ 市役所

事業名称		青少年総合支援センター費			事業種別		直営		担当部署		教育委員会生涯学習室			事務事業No.		2-4					
事業期間		昭和47年度			～		平成 年度			記入者		田中 直樹									
事業の経緯		昭和47年4月に設立(当初は、青少年補導センター)され、青少年の健全育成を図るための補導員(5名)による補導・相談業務を行っている。補導業務は、青色回転灯を搭載したパトロール車2台で、市内を巡回し「愛の声かけ」を中心とした補導活動、有害図書や広告の発見等環境浄化活動を実施している。また、相談業務は、非行に関する電話等相談を実施している。								根拠法令											
										根拠条例		亀山市青少年総合支援センター規則、亀山市青少年総合支援センター運営協議会要綱									
										必須業務の有無		無									
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)		補導員が市内で街頭補導を実施することや、電話での相談業務を実施することにより、青少年の健全育成を図る。 総合計画6-(1)-⑩「青少年の健全育成」								これまでの成果		成果の内容		・青色回転灯を搭載したパトロール車で市内を巡回し、深夜0時までパトロール実施。(昼間2台、夜間1台)・有害図書等社会環境点検パトロール実施。・市広報掲載やたより発行による啓発活動。							
												実績指標名		少年非行防止対策活動実施件数(補導、環境浄化、啓発)							
事業概要 施設概要(規模、階数、建築年度など)		【事業概要】 補導員による日常街頭補導、各地区から選任された補導委員(50名)との特別街頭補導、及び事務所・車の管理業務 【施設概要】 事務所: 青少年研修センター2階(賃貸) 車: 青色回転灯搭載パトロール車 2台								指標の推移		単位		H21実績		H22実績		H23見込		目標値()	
												日		251		259		260		260	
										成果指標名		補導件数									
												指標の推移		単位		H21実績		H22実績		H23見込	
										人		588		682		500					
										対象者の推移		単位		H21実績		H22実績		H23見込		目標値()	
人		5,936		5,945		6,004															
将来の動向		対象人口については、微増すると考えられる。																			
民間委託		委託の現状		委託していない。																	
受け皿の存在		市教委が委嘱する補導委員(50名)及び青少年育成指導委員(27名)、亀山市青少年育成市民会議及び青少年育成地区会議(各地区コミュニティ)、「愛の運動」協力団体																			
市における類似事業		なし																			
近隣市町の状況		三重県青少年補導センター連絡協議会(H22解散)では、13市1町が加入していた。 ・津市青少年センター、四日市教委青少年育成指導室、伊勢市青少年相談センター、松阪市青少年センター、桑名市青少年サポートセンター、伊賀市青少年センター、鈴鹿市教委青少年課、名張市青少年補導センター、尾鷲市少年センター、鳥羽市青少年サポートセンター、熊野市少年相談センター、志摩市青少年補導センター、玉城町青少年補導センター ・各市町とも、補導業務、相談業務、環境浄化業務を実施し、学校、地域や関係機関との連携を図りながら活動している。																			
国、県の補助金の動向		補助金なし																			
廃止したときの影響		青少年の非行の助長及び不審者・空き巣等犯罪の増加が考えられる。																			
主な事業費(H23見込)		その他特記事項(事業仕分けにかけたい理由、議論して欲しい点、留意事項など)								今後の方向性: 現在緊急雇用創出事業と併せて、パトロールの時間帯が、8:30～24:00であるが、平成24年度に向けて、パトロールの時間帯や体制の見直しをする予定である。											

事業名称		メール配信システム事業		事業種別	委託	担当部室		情報統計室		事務事業No.	2-5	
事業期間		平成18年度		～	平成 年度	記入者		草川 晋平				
事業の経緯		全国で児童への事件が多発していたことを契機に、平成18年6月から防災、防犯、災害及び市からのイベント開催等のお知らせを登録されたメールアドレスに配信する事業を開始した。「あんしんメール」「緊急参集」「学校通信」の3つに分類され、それぞれの担当により配信を行っている。また、今年度6月より気象情報及び地震情報の配信も開始している。				根拠法令		無				
						根拠条例		無				
						必須業務の有無		無				
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)		児童、生徒を狙った不審者情報や、台風、地震などの災害情報等を迅速に情報発信することにより、安心、安全なまちづくりを進める。 総合計画2－(5)－①「行政情報の市民との共有化」				これまでの成果	成果の内容		配信カテゴリーを整理した。また、気象情報及び知新情報の配信を開始した。			
							実績指標名		配信カテゴリー数(あんしんメール)			
事業概要 施設概要(規模、階数、建築年度など)		指標の推移		単位	H21実績		H22実績		H23見込		目標値()	
				分野	4		7		7		9	
		成果指標名		かめやま安心めーるの登録者数								
		指標の推移		単位	H21実績		H22実績		H23見込		目標値()	
				回	3,381		3,255		3,350		5,000	
【収入】		千円		H21実績		H22実績		H23見込				
使用料・手数料				0		0		0				
国支出金 (補助率)				0		0		0				
県支出金 (補助率)				0		0		0				
その他()				0		0		0				
収入合計				0		0		0				
【支出】		千円		H21実績		H22実績		H23見込				
人件費	正規職員	従事人数(人)		0.2		0.2		0.2				
		人件費		1,534		1,467		1,462				
	臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)		0.0		0.0		0.0				
		人件費		0		0		0				
事業費(予算・決算上)				2,268		3,159		2,949				
支出合計				3,802		4,626		4,411				
【収支】		千円		H21実績		H22実績		H23見込				
一般財源充当額				3,802		4,626		4,411				
対象者あたり一般財源充当額				0		0		0				
主な事業費 (H23見込)	費目		内容		金額(千円)		国、県の補助金の動向		なし			
	委託料		機器保守、システム保守		2,949		廃止したときの影響		あんしんメールの廃止により、市民の情報収集手段の一つがなくなることとなる。また、学校通信については、児童生徒の保護者の9割以上が登録しており、有効な連絡手段がなくなることとなる。			
							その他特記事項(事業仕分けにかけたい理由、議論して欲しい点、留意事項など)		「あんしんメール」の登録者数が横ばい状態であり、色々なPRをするも増加しない、市が実施する広報手段として確立させるには、登録者数の増加が必須と考えている。			